

梅雨の花

森野かずみ



ガクアジサイ



ヤマアジサイ

東京の平年の梅雨入りは8日頃で、梅雨の別名「五月雨」（さみだれ）は旧暦5月頃の雨のこと。逆に梅雨の間の晴れ間のことを「五月晴れ」（さつきばれ）と呼びますが、最近では「五月晴れ」（こがつばれ）と読んで、新暦5月初旬のよく晴れた日を指すこともあるようです。

梅雨の花といえば、アジサイ（紫陽花）。小雨の降る中で眺めるアジサイには、独特の雰囲気を感じられます。アジサイ科アジサイ属であるアジサイの呼び名には、広い意味と狭い意味があります。皆さんがいろいろな品種を見てアジサイと思うのが広い意味、品種を特定してアジサイとするのが狭い意味です。

狭い意味でのアジサイは、別名ホンアジサイとも呼ばれる日本で改良された栽培品種（自生説もあり）で、花序がすべて装飾花になったもの。見た目ではほとんど区別できませんが、欧米で改良された大型の栽培品種はセイヨウアジサイ（ハイドランジア）と呼ばれています。

原種は日本に自生するガクアジサイで、花序は多数の両性花を中心に装飾花が周りを縁取り、和名も額縁になぞらえて付けられました。両性花は花弁が5個、淡青紫色で長さは3㎝前後で、装飾花はガク片で白く青紫色の長さ2㎝前後です。よく似た自生種ヤマアジサイは全体に小ぶりで繊細です。また、アジサイの仲間には有毒植物で、実際に中毒事件も起きているのでご注意ください。

最初は薄い黄緑色から始まり徐々に変化する七変化を楽しみながら、雨中のアジサイ散歩をお続けください。

※Kaceeのホームページでカラー写真をご覧いただけます。